

Fuji Champion Race Series Round 5

31 Oct.-1 Nov. 2015

ROADSTER CUP NA6/NA8/NB8

Round 4



各クラスのポイントリーダーは10ポイント以上の差をつけて最終戦に臨んだ。予選でトップタイムを出したのはNB8 11 Joyアクレ Motys☆NB8 戸田裕一 2'06.562。フロントローには、NA8 1 RSP ベリーアクレ Moty's 山形卓が2'06.821で並ぶ。NA6のトップタイムは7 大山ベリーアクレ Motys NA6 茂木文明の2'07.525。決勝ではスタートで1山形が前に出るも終始激しいトップ争いが続く、ラスト2ラップで11 戸田が前に出るも、トップチェッカーは0.162秒差で1山形が受けた。NA6は茂木が逃げ切って優勝。NA6 7茂木は「クラス入り乱れてのバトルでいつもに増して大変でした」NB8 11 戸田は「最後は負けちゃって悔しいけれど、バトルはとても楽しかった」NA8 山形は「大山オートに勤めていたのですが、独立してまだ小さいけれどショップを始めたところです。それで第3戦は出られなかったのですが、独立してから始めてのレースで勝てて嬉しい」と話していた。



RESULT リザルト NA6

Rank No.	Name
1	7 茂木 文明
2	23 山川 稷
3	5 入江 直
4	27 野木 強
5	10 櫻園 弘
6	76 辻本 均
7	16 野田 宗男



RESULT リザルト NA8

Rank No.	Name
1	1 山形 卓
2	88 山田 健介
3	81 松波 太郎
4	0 小原 健一



RESULT リザルト NB8

Rank No.	Name
1	11 戸田 裕一
2	91 神谷 誠
3	22 山平 健太郎
4	24 東 宗明
5	50 須崎 弘一郎
6	77 鈴木 勇太
7	87 中村 英貴
8	75 澤田 薫

FCR-F

Round 3



今シーズンからシリーズ戦となったこのカテゴリーも第3戦となる今回が最終戦。上位7台がチャンピオンの可能性を持っている。予選トップはランキング7位の72 チームNATS・正義056 金井 亮忠 1'45.301のタイム。隣にはランキング2位の77 アルボルアルデア CMS 木村順が1'45.906のタイムで並び3番手にはランキング3位の24 ダブルエース 柴田隆之介といったランキング争いも最後までわからないグリッド順になっている。決勝では、スタートで少し出遅れた77木村を尻目に72 金井が引き離しにかかり、その背後では激しい2番手争い。後半になっても2位争いは続き、ラストラップで77木村が抜き返し、72金井・77木村・31 K'sR-MASA006SPM 大竹将光の順でチェッカーを受けた。72金井は「スタートも無事決まったのですが、後半になって電気系トラブルが出ていました。前半で稼いでおいたので逃げ切れた。学生にマシンを造らせているのでこの調子で来年も頑張りたいです」と話していた。



RESULT リザルト FCR-F

Rank No.	Name
1	72 金井 亮忠
2	77 木村 順
3	31 大竹 将光
4	24 柴田 隆之介
5	19 ハンマー伊澤
6	33 武居 義隆

ROADSTER CUP NC/DEMIO RACE/8Beat

Round 4



最終戦までシリーズチャンピオン争いが続いたこのクラス、予選トップタイムは8Beat JP-2R 99プロコンポジットBLITZ 86 古田聡 2'02.720。RSC/NCではオープングラスの7 Joy☆abMoty'sRS 高橋裕史 2'08.225。デミオは75 145デミオ改withSKR 西山隆がコースレコード更新の2'17.051で各クラスのトップからのスタート。曇り模様で少し肌寒さを感じる決勝レースではポールスタートの99古田が2番手以降を寄せつけずに快走、そのままトップでチェッカーを受けた。激しいトップ争いとなったのはRSCとデミオクラス、RSCでトップチェッカーを受けたのはチャレンジクラストップの71 クロハチ☆ED☆ロードスター 登坂紀、次いで7高橋。デミオは55 DO-ENGオクヤマデミオ 町田垂矢が優勝した。71 登坂は「2年連続チャンピオンが取れました。来シーズンも3連覇目指して頑張ります」7高橋は「2日前に子供が生まれ、それでもこのレースに送り出してくれた家族に感謝して優勝を持って帰れます」55町田は「ディーゼルエンジンと仲良くなってこれました。もう少しこのエンジンの良さを広めていきたいです」とレース終了後に話していた



RESULT リザルト NC-O

Rank No.	Name
1	7 高橋 裕史
2	80 染谷 浩一
3	25 橋川 学



RESULT リザルト NC-C

Rank No.	Name
1	71 登坂 紀
2	22 中桐 孝治
3	87 坂田 絵理子
4	18 らんまん



RESULT リザルト DEMIO RACE

Rank No.	Name
1	55 町田 垂矢
2	75 西山 隆
3	34 常盤 岳史
4	21 新井 敏克
5	51 戸田 和彦
6	38 古閑 宏



RESULT リザルト 8Beat 2R

Rank No.	Name
1	99 古田 聡



RESULT リザルト 8Beat 2S

Rank No.	Name
1	07 伊藤 毅
2	08 AKKY
3	14 石井 尚顕
4	05 稲田 昌文



RESULT リザルト 8Beat 3S

Rank No.	Name
1	77 佐藤 圭
2	136 今堀 隆三郎

Super FJ

Round 5



Super FJも今回第5戦が最終戦となる。ここまでのポイントリーダーは36 アルビGIA玉三郎10V ED 深村匠、そこに19 ZAPSPEED 10V ED小松圭祐が追う形になっている。この最終戦、予選でトップタイムを出してポールポジションを決めたのはスポットで参戦してきた58 Rn-s TANZENミスト 大湯都史樹 1'51.548。フロントローにはこちらスポットの45 ガレージ茶畑10V ED山田遼 1'52.055。19 小松は3番手、36 深村は5番手からのスタートとなった。雲の合間から太陽が覗きだした決勝レースではスタート直後に中段グループで数台アクシデント、その隙にトップ2台がコンマ差の争いを続け、3位以下を引き離していくレースになった。トップでチェッカーを受けたのは45 山田、2位に58 大湯、3位19 小松という結果。45山田は「最後まで諦めずに着いていき、大湯さんのシフトミスのタイミングで前に出られました。今シーズンF4に出ていたのですが、資金面から途中で中断。今回チャンスを頂いて勝てることが出来てとても嬉しいです」と話していた。



RESULT リザルト Super FJ

Rank No.	Name
1	45 山田 遼
2	58 大湯 都史樹
3	19 小松 圭祐
4	20 加納 亨介
5	18 飯嶋 郁陽
6	22 赤堀 憲臣

AE111/ROADSTER

Round 4



最終戦のこのクラス、シリーズチャンピオンの行方はAE111はトップ2台が15ポイント差、NA6は4台にチャンピオンの可能性がある。今回は予選でポールポジションのタイムを出したのは久しぶりにこのクラスに帰ってきたAE111 78 MAS91K/F・IDIトレノ デバマン石渡 2'01.061のタイム、RS NA6はポイントリーダーの1 コーンズロードスター 大野俊哉がコースレコード更新の2'07.904でトップからのスタートとなっている。決勝レースでは78デバマンが後続を抑えてトップで順調に周回を重ね、徐々に2位以下を引き離してそのまま優勝。NA6は1大野と8 i-MAGICμロードスター 福永健二のトップ争い。勝ったほうがチャンピオンとなるため、最後まで激しいデッドヒートとなったが、0.088秒差で1大野が先にチェッカーを受けた。78デバマンは「金曜日に7年前のチームからお誘いを受け、7年前の恩返しが出来た。ダブルエントリーのVitzでの鬱憤も晴らせた子供のの前でも勝ててネットさんにも良い報告が出来ます」1 大野は「ラストラップでミスをして、終わったかと思いましたがそこから妙に頭も体もクリアになってバンバンいくことが出来て、なんとか追いつけました」と話していた。

RESULT リザルト AE111

Rank No.	Name
1	78 デバマン石渡
2	11 白井 利明
3	18 塩岡 雅敏
4	91 船木 周一
5	46 溝口 司
6	31 安藤 智

RESULT リザルト ROADSTER

Rank No.	Name
1	1 大野 俊哉
2	8 福永 健二
3	81 安達 陽平
4	2 雨宮 恵司
5	43 大井 正伸
6	22 小林 弘典

N1400/N1000/DEMIO(N1)

Round 4



こちらこの最終戦までポイント争いが続くカテゴリー、N1400クラスは2台、N1000では3台がチャンピオンを目指して臨んできている。デミオだけは今シーズンも103 R.P.M/Hで前戦までに確定している。予選でポールポジションを決めたのはランキング4位の0 戸敷電設ミッドランドED82 戸敷直人 2'09.021。N1000はポイントリーダーの41 マルチ2クラフトヴィッツ 佐藤英二が2'17.447でトップからのスタート、デミオは103 阿部組WMさよならN1デミオ・のR.P.M/Hが2'25.629でトップタイム。決勝では各クラスとも激しいトップ争い、最終ラップで21 スノコμDLマリンAID82 大竹直が1コーナーを押さえ前に出てそのまま優勝した。最後まで激しいトップ争いのN1000も0.069差で41佐藤の優勝。デミオは103R.P.M/Hが逃げ切った。N1400 21大竹は「タイヤチョイスに悩んで辛いシーズンでしたが最終戦で勝てて良かった」N1000 41 佐藤は「良いドライバーの皆さんと楽しいレースが出来ました」デミオ 103 R.P.M/Hは「デミオは今回が最後、来年はカートやろうかな？」と話していた



RESULT リザルト DEMIO(N1)

Rank No.	Name
1	103 R.P.M/H
2	8 大谷 淳

RESULT リザルト N1400

Rank No.	Name
1	21 大竹 直
2	78 大沢 雄哉
3	0 戸敷 直人
4	26 斎藤 和実
5	3 山田 大輔
6	31 内田 恒雄

RESULT リザルト N1000

Rank No.	Name
1	41 佐藤 英二
2	51 清水 悠祐
3	54 垣生 彬
4	49 菅野 良男
5	83 松本 英之
6	393 前田 貴行

GAZOO Racing Netz Cup Vitz Race
Kanto Series
Round 4



関東シリーズもこの第4戦が最終戦となっている。ここまでのポイントリーダーは4 ネット千葉プロμVitz 北田和也、108 犬印Nヤサカファクター Vitz 峯幸弘が追う形。この最終戦まで結果はわからない。予選でポールポジションを決めたのは、2'16.033のタイムでA組トップの4 北田。フロントローにはB組トップの108 峯が2'16.738で並ぶ。決勝ではスタート直後に108 峯が前に出るが、4 北田も次の周回で巻き返す激しいトップ争いをしていた。レース後半2位争いが激しくなり、その隙にトップ4 北田は差を広げ、8週の決勝を4 北田が逃げ切り優勝。最後までバトルが続いた2位争いは 64 N群馬ジースパイスFKVitz 松原亮二が先にチェッカーを受け、3位は283 AMC Vitz DXL ML 武平良介という結果となった。4 北田は「スタートをミスして前に出られてしまいました。金曜の練習走行からマシンの調子も良く、落ち着いていられれば勝てると信じていました」とコメント。



RESULT リザルト Vitz

Rank	No.	Name
1	4	北田 和哉
2	64	松原 亮二
3	283	武平 良介
4	108	峯 幸弘
5	13	蓬田 昭男
6	714	中村 修彦

Porsche GT3 Cup Challenge Japan 2015
Round 9&10



ツインリンクもてぎ、岡山国際サーキットとここ富士スピードウェイを転戦して行なわれたGT3 Cupも今回第9戦・10戦が最終戦。予選でトップタイムを出し、第9戦のポールポジションに決まったのはCup- I 雷神997GT3Cup Aquira Stanley 1'44.743でコースレコードを更新した。フロントローには、32 ナインレーシングGT3 永井秀貴が並ぶ。Cup- IIクラスは44 DSP GT3 Cup 島下泰久 1'50.113でトップ。ローリングスタートからの決勝レースは12 Aquira Stanleyが他車を寄せつけずに逃げ切りポールトゥウィンを決め、Cup II 44島下もそのまま優勝した。第9戦のレース中のベストタイムでグリッドが決まる第10戦では、開始直後から12 Aquira Stanleyとフロントロースタートの11 KRM SARAYAMA997 Fukujirouの激しいトップ争いが終始続き、0.477秒差で11 Fukujirouがトップチェッカーを受けた。Cup IIは44 島下が逃げ切って優勝。Openクラスは9・10戦とも99 SKAD 996GT3RSR 佐野新世が優勝した。



RESULT リザルト Cup I

Rank	No.	Name
1	12	Akira Stanley
2	11	Fukujirou
3	86	福田 幸平
4	66	Nao
5	63	長嶋 重登
6	22	小山 雅也

RESULT リザルト Cup II

Rank	No.	Name
1	44	島下 泰久
2	76	松本 隆行
3	9	小林 賢二

RESULT リザルト Open

Rank	No.	Name
1	99	佐野 新世



RESULT リザルト Cup I

Rank	No.	Name
1	11	Fukujirou
2	12	Akira Stanley
3	66	Nao
4	22	小山 雅也
5	86	福田 幸平
6	77	MUSASHI

RESULT リザルト Cup II

Rank	No.	Name
1	44	島下 泰久
2	76	松本 隆行
3	9	小林 賢二

RESULT リザルト Open

Rank	No.	Name
1	99	佐野 新世

